

2022~2023年度 第12回理事会議事録 日時：2023年3月9日(木) 13:40~/場所：ダイワロイネットホテル和歌山4F

出席者 乾 敦雄、瀧川嘉彦、佐藤義記、山本進三、島 公造、片岡聖佳、北浦康臣、竹村克治、櫻畑友洋、奥村申二 議事録作成者 奥村申二

議題

協議案件 ①2023-2024年度ロータリー財団補助金申請の件 和歌山城公園内へのベンチ設置事業を第一候補とする。次年度理事会にて方向性を確認の上、本年度4月理事会にて審議の予定。

報告事項 ①来週からの例会時のマスク着用については、政府の方針に基づき、各自の判断に委ねることとする。 以上

お宝お宝箱

ありがとうございました

- 内畑 瑛造さん 富岡先生、古事記のお話たのしみにしています。
山本 進三さん 富岡様本日は卓話におこしいいただきありがとうございます。卓話、楽しみにしています。
佐藤 義記さん 本日のI.D.M.宜しくお祈りします。
片岡 聖佳さん 富岡様、本日の卓話楽しみにしていました。
釣谷 泰介さん 本日もよろしくお祈りします。
山中 齊さん 富岡様、本日は卓話よろしくお祈りします。
乾 敦雄さん 富岡様 本日の卓話よろしくお祈りします。
北浦 康臣さん 富岡様本日は卓話よろしくお祈り致します。

(お誕生日お祝い)

- 刀祢 真大さん 58才になりました。
奥村 申二さん お誕生日のお祝いをいただきました。

本日の累計...32,000円(計10名10件) [お誕生日お祝い...300,000円 奥様花お礼...120,000円 皆出席表彰...40,000円 その他...987,000円 累計...1,447,000円]

Table with 4 columns: Meeting Type, Date, Content, and Name. Includes '本日の例会', '前回の例会', '次回の例会', and 'メーカーアップ'.

出席報告 会員数 50名(内出席規定適用免除会員8名) 3月16日(本日) 22名/44名 50% 皆さん、出席してください。

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
例会場/ダイワロイネットホテル和歌山 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1 TEL (073)435-3333 FAX (073)423-0057
事務局/〒640-8043 和歌山市福町49 和歌山中橋ビル503号室 TEL (073)432-4343 FAX (073)432-4845
会報・広報・IT委員会/加納 研次 栗本 信行 玉置 博康 例会日 木曜日 12時30分



奉仕を通して、美しい社会を

2022-2023年度和歌山東ロータリーのテーマ

IMAGINE ROTARY

2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ URL:http://www.werc.jp E-mail:info@werc.jp

乾 敦雄 会長

会長報告



皆さんこんにちは、和歌山東ロータリークラブ第27回例会にご出席ありがとうございます。

3月も半ばになりました。皆様、花粉症はだいじょうぶですか。私は、10年くらい前から花粉症になったのでこの時期は辛いです。

何とか、凌いでいきましょう。

さて先週の理事会の時に、山本副会長からアニメの「サマータイムレンダ」について教えて頂きました。劇中のロケ地が和歌山市の友が島を中心に和歌山市内各箇所が描かれていると聞きました。そして、そのロケ地を巡る観光客が訪れているとのことでした。また、長澤まさみさん主演のコンフィデンスマンJP英雄編ではマリーナシティのポルトヨーロッパが撮影に使われました。和歌山を舞台にしてくれるのはとても嬉しいことです。今後も和歌山に関する映画などを、うまくPRして地域活性化に繋げていってもらいたいと思います。当クラブの吉田会員は1月から公開している映画「あつい胸さわぎ」に出演しています。もちろん和歌山ロケがあるので私も見てみたいと思います。

今日は、WBCの準々決勝日本対イタリア戦です。大谷翔平選手が先発なので大変盛り上がると思います。今日の試合も快勝してアメリカで活躍を期待しています。

以上、会長報告です。

幹事報告

奥村 申二 幹事



- こぼと学園便り 回覧



お誕生日お祝い

- 刀祢 真大さん(58才)
奥村 申二さん(55才)

おめでとうございます



卓話「古事記をちょっぴり知ろう」 古事記に親しむ会大阪代表 富岡 光夫 さん



「古事記」は固有名詞ではありません。古いことを記した文書という意味の普通名詞です。いまから1300年前の西暦712年、時の元明天皇に作者の太安万侶が奏上しました。詳しくは「古事記」本文の前に書かれている「序」で、制作の目的なども含めて述べられています。680年頃、有力な天武天皇が天皇（すめらみこと）家の出自を国民に明らかにするため、28歳で頭脳明晰な稗田阿礼に、各地で伝わる言い伝えなどを調べるよう命じました。当時各地の豪族たちは自分に都合の良い祖先神を信じていましたので、天武天皇はそれらを整理し、天皇家こそ最高神である天照大神が祖先神であることを証明したかったのです。

古事記の内容を紹介します。それなりに知っている内容もあるのですが、なぜ「古事記」に記載されているのか考えていきたいと思えます。先に述べた通り「古事記」は天皇家の出自（祖先神）を明確化する物語です。結論から言って天皇家の祖先神は、あの有名な天照大神です。天の岩屋戸の伝説は多くの国民が知る神話ですが、天照大神の誕生やなぜ岩戸にこもったかはあまり知られていません。このあたりの話から天照大神と初代神武天皇までのつながりを語らせていただきます。

国を生み多くの神を作ったのはイザナミ・イザナキのご夫婦でした。淡路島、四国。九州そして隠岐の島、佐渡島、最後は本州と順番に誕生させましたが、完全な形が整う前に、妻のイザナミが病になって黄泉の国へ行ってしまう。夫のイザナキは黄泉の国まで行って、妻に帰ってくれとお願いするのですが、すでに黄泉の食事を食べたことを理由に断られます。イザナキは穢れの禊ぎをするため、川に入って、服や持ち物を洗い最後に顔を洗います。そうすると左の眼から天照大神が、鼻からスサノオノミコトが誕生しました。イザナキは天照大神を高天原を、スサノオに海の世界を統治するよう命じました。しかし不満を持ったスサノオはその気持ちを姉の天照大神に訴えるため、高天原に上ります。天照大神は、てっきりスサノオが高天原を奪いに来たと思って、誓約（うけい）を行います。天照はスサノオの刀を細かく刻んで霧を吹きかけます。そうすると世界遺産で有名な宗像大社の3女神が誕生します。今度はスサノオが天照の勾玉がついている首飾りを細かくかみ、霧を吹きかけます。そうすると天忍穂耳神ら5男神が誕生します。スサノオは自分の持ち物から女神が誕生したことから自分の心が清らかであることを証明できたと主張しましたが、周りの賛意が得られません。不満を持ったスサノオは高天原で乱暴狼藉行為を続けます。姉の天照は一生懸命に弟をかばいますが、スサノオは裸馬を高天原にある建物の屋根から落として、働いていた織女が死んでしまいます。天照の気持ちを原文では「身畏みて」とあり、自己反省して自分も禊をするため天の岩戸に籠ったと解釈されます。

大国主神は出雲で素晴らしい国を作りましたが、高天原の天照大神やタカミムスヒ神は天つ神に譲ってもらおうと交渉します。紆余曲折はありましたが戦いがあったという記述はありません。いよいよ「天孫降臨」の場面に入ります。天照大神は初め、長男の天忍穂耳命を大将としていかせようとしていたのですが、孫の邇邇芸命ニニギノミコトに全権を託します。お供は天の岩屋戸で活躍された神様です。

ニニギノミコト一行は、三種の神器を携えて筑紫の日向の高千穂の「くじふる嶺」に天降りされました。ここから「日向三代」が始まります。ニニギノミコトは笠沙野の岬で麗しい美人に出会いました。一目で恋に落ちました。あなたは誰かと問いますと「私は大山津見神の娘でこのはなのさくやびめといます」父に結婚の許可を申し出ますと「姉の石長比売と一緒に結婚してください」ところが醜女であったため拒否します。このはなさくやびめが妊娠します。ところがニニギは、一夜限りの交わりで妊娠するはずはないと疑います。サクヤヒメは言います「私の産む子がもし国つ神であるなら無事に出産することはないでしょう。もし天つ神のこであるなら無事に出産するでしょう」と出入口のない建物を作り、中に入ると内側から土で塗り塞ぎ、出産が近づくとその建物に火を放ちその燃え盛る火の中で子を生まれました。火から遠いところで生まれたのが火遠理（ほおり）命、火に近いところで生まれたのが火照（ほてり）命、弟の火遠理命は山で動物を狩って暮らす生業をするため山幸彦といわれました。山幸彦は海神の娘、豊玉毘売と結婚しますが、出産時「本

来の姿になって産むので私を観ないこと」を条件に、海辺の波打ち際に、鶉の羽根を葦に見立てて産屋を作ります。ところが山幸彦は、豊玉毘売の言葉を不審に思って、産屋が完成していないのに出産で苦しむ豊玉毘売を覗きますと、姫は八尋和邇だったのです。びっくりした山幸彦と御子を置いて姫は、海とこの国との境である海坂を塞いで海神の世界に帰られます。しかし豊玉毘売は、御子の養育を心配して妹の玉依毘売を乳母役として派遣します。御子の名前は鶉草草不命（うがやふきあえずのみこと）といひます。火遠理命はその後、高千穂宮で、580年生まれその御陵は高千穂の山の西にあります。

うがやふきあえずのみことは、叔母に当たる玉依毘売を娶って、お生みになった子の名前は五瀬命（イツセノミコト）、次に稲水命（いなひのみこと）、次に御毛沼命（みけぬのみこと）次に若御毛沼命（わかみけぬのみこと）またの名は神倭伊波礼毘古命（かむやまといわれびこのみこと）。御毛沼命は、浪の穂を超えて常世国にわたり、また稲水命は母の国である海原に入っていました。（ここから古事記は中つ巻に入り、神武天皇の物語になります。）

カムヤマトと兄のイツセノミコトの2柱の神は、高千穂宮で相談します。「一体どこに住めば、平和に天下を治めることが出来るだろうか。東に行きましょう」そして日向（九州南部）をたち、筑紫（九州北部）を目指しました。豊国の宇佐（大分）に着いたとき、土着の宇沙都比古らがカムヤマト兄弟をもてなしました。次は筑紫の岡田宮（福岡県遠賀川河口付近）に一年間留まり、阿岐国の多祁理宮（広島県府中市課）に七年、また吉備（岡山県と広島県東部）の高島宮に八年留まりました。そしてこの地よりさらに東に進み、なみはやの渡（大阪湾の沿岸部）で船を止めました。この時、登美毘古が軍をおこして待ち構えていたので戦いになりました。けど兄のイツセノミコトがその手に敵の矢を受けてしまいます。「我々は神の御子なのに、日に向かって戦ったことがよくなかった。これからは背に日を負って敵を討とう」傷を負った手の血を洗ったところが血沼海（大阪府南部）です。そこからさらに紀国の男之水門（小野港）に着きましたが、残念ながらイツセノミコトが傷がもとで死んでしまいます。御陵は紀国の竈山（和歌山市和田）にあります。兄をなくしたカムヤマトですが、さらに回り込んで進めます。熊野村（新宮市付近）に着いた時、大熊が見え隠れします。それから急に体調を崩され臥せってしまいます。従う兵たちもみな具合を悪くして寝込んでしまいます。臥せっているカムヤマトのところへ熊野の高倉下が突然来て、一振りの太刀を奉納しました。するとカムヤマトはようやく立ち上がり、「長い間寝てしまった」刀を受け取ると、何もしないのに熊野の山の荒ぶる神は自ら切り倒されてしまい、伏して寝込んでいた兵士たちは、悉く目を覚ましました。このわけを尋ねたところ、高倉下は「不思議な夢を見ました。天照大神と高御産巢日神が言うのに葦原中国が騒がしくて私の子供が苦しんでいる。この太刀を高倉下の倉の屋根に穴をあけてそこから落とし入れますので、朝になったら太刀を天つ神御子に献上しなさい」夢のお告げのとおり自分の倉を見ると本当に太刀があったのです。この太刀の名は布都御魂（フツツの御魂）といって石上神宮に鎮座しています。

高天原の神からさらに命令が下されます。「ここから奥の方に入ってはいけない。荒ぶる神がたくさんいるので、天より八咫鳥を遣わすので、その後ろを進んでください」吉野川の下流で国つ神の贄持之子（にえもつの子）と会い、また山の中に入ると国つ神の石押分之子（岩雄氏わくの子）と会います。さらに奥に入ると、宇陀の地に入ります。そこで兄宇迦斯（えうかし）弟宇迦斯（おとうかし）に一行に仕えるかと聞いたところ、八咫鳥を射って追い返してしまいます。その上、天つ神御子を待ち受けて討とうと御殿の中に押機を仕掛けます。ところが弟は兄の陰謀を白状したため難を逃れることが出来ました。さらに進みますと忍坂（桜井市）で土雲の八十建（やそたける）を撃退するなど幾度も苦戦しながら連勝を続けます。こうして天つ神御子は荒ぶる神々を説得して平定され、従わない人たちを追い払って畝火（うねび）の白檮原宮（かしはらのみや）が天下を治めた。天つ神御子は初代の天皇に即位され、のちに「神武天皇」と呼ばれた。～古事記には記載ないのですが「日本書紀」では神武天皇即位の記述があって、紀元前660年2月11日とあります。

天照大神→天忍穂耳命→ニニギノミコト→山幸彦→ウガヤフキアエズ→カムヤマト（神武天皇）→126代今上天皇という系図が誕生しました。